

山本親吉
製物師

五月
上
標
宗
向
号
也

090
163

山新... 古語... 山新... 古語... 山新... 古語...

山新... 古語... 山新... 古語... 山新... 古語...

山新... 古語... 山新... 古語... 山新... 古語...

十月廿七

十月廿七... 山新... 古語...

山新... 古語... 山新... 古語...

山新... 古語... 山新... 古語...

十月廿七... 山新... 古語...

山新... 古語... 山新... 古語...

山新... 古語... 山新... 古語...

十月廿七

山新... 古語... 山新... 古語...

仲之乃来又之如航十下船之乃船退航 係之信云

物海島航信其海程所行今有橋中向以程中
出之航以千下上之航以通航之長之序表之知
此信以有之出達之有之表之知

二十日

相平御中

山列航於山列中上京信度山程為之相見

方今之乃事之時之齊 山威當 船之由之

回之且中牛山物痛山程所行今有橋中向以程中
此信以有之出達之有之表之知

山列航於山列中上京信度山程為之相見
方今之乃事之時之齊 山威當 船之由之
回之且中牛山物痛山程所行今有橋中向以程中
此信以有之出達之有之表之知

一

臣家後知船名之者其表之信之表之知
付書之信之表之知
船程之信之表之知
船名之信之表之知
船之由之信之表之知
船之由之信之表之知

有之遊... 傳... 十...

十月...

高橋...

前田...

多利大... 人... 十...

十月...

杉...

方...

丹...

他...

右...

薩...

世... 期... 奏...

帝...

不... 自... 皇...

開...

皇... 誰...

御中軍

先鋒之先

藤原氏志 如法

同二尺指果
決戸如法

同二尺沙着

石川氏

大坂志如法

意後指果
如法

厚紙口付

一丁是居居
如法

二丁尺人
指果如法

長辨想
石川氏

林仔掃如法

軍目附
黒田五郎

丹仔高約少補

林系式約少補

同建仍住源市

松平之石

同能智如法

松平岩約去浦

同柳生主膳

松平歌前

同酒井教子

松平倫前

同田中市右衛門

松平政隆

同長坂血繼

石約主計

同山景

松平右近將監

同三枝利

島井清

同石川八十

松平中納言

同藤合瑞監

河内進志所

招平園幡寺

軍目附
城 年人

招平山相寺
同 信坊左原左

意後指長治寺
丁先指長治寺
如法

上ノ宮口付寺

招平隱成寺

招平式初齋佛

同 吾我控古門

伊達遠心寺

同 竹尾戸丁市

丁先指長治寺
如法

二ノ又同新

招平山相幡寺
同 乃野山古山

奥平大猪古史

同 藤川主祝

招平寺古史

同 金田敷原

意後指長治寺

下ノ宮口付寺

細川御中寺

同 笈助平古

立花元飛騨寺

同 安養治古門

古事系古事寺

同 招平古事寺

丁先小倉口古法

古事系古事寺

少室東通石

少室東通石

同小水山又

同酒丹岩之

仲川

同

松平

同

石

石

石

石

石

石

石

石

石

石

石

石

一 御中軍之内に高橋の唐馬と御法二高橋
御中軍
御中軍列の西に引續かたき高橋の御中軍

右末列の西に本月十日の唐馬を御中軍
引續かたき

丁丁丁

唐馬を御中軍の西に引續かたき高橋の御中軍
御中軍列の西に本月十日の唐馬を御中軍
引續かたき

丁丁丁

一 高橋の御中軍の西に引續かたき高橋の御中軍
御中軍列の西に本月十日の唐馬を御中軍
引續かたき

一 幕吏の御中軍の西に引續かたき高橋の御中軍
御中軍列の西に本月十日の唐馬を御中軍
引續かたき

一 高橋の御中軍の西に引續かたき高橋の御中軍
御中軍列の西に本月十日の唐馬を御中軍
引續かたき

一 今般幕府進軍の次に来薩藩の幕府に御中軍
御中軍列の西に本月十日の唐馬を御中軍
引續かたき

一 志公有志之志中 懇新之原也

神馬志公の志中 武勇武勇 確固たる 神馬志公
志公有志之志中 懇新之原也 志公有志之志中 懇新之原也

志公有志之志中 懇新之原也 志公有志之志中 懇新之原也

武備嚴重 志公有志之志中 懇新之原也

自他志公 志公有志之志中 懇新之原也

志公有志之志中 懇新之原也 志公有志之志中 懇新之原也

一 志公有志之志中 懇新之原也

志公有志之志中 懇新之原也 志公有志之志中 懇新之原也

志公有志之志中 懇新之原也 志公有志之志中 懇新之原也

志公有志之志中 懇新之原也 志公有志之志中 懇新之原也

志公有志之志中 懇新之原也 志公有志之志中 懇新之原也

一 志公有志之志中 懇新之原也 志公有志之志中 懇新之原也

右云九月廿七日也立上言の石枕東板障為攝案仕
尚月十下右板也帆の唯五万石障の廣

此後出難
已上

十月廿六

丹東島宗

[Faint, mostly illegible handwritten text]

帯人

去九月廿七日也立上言の石枕東板障為攝案仕

一生八夜西福寺上乗有定中御高板止高仕為
西福寺上後移知福名大例版和日高福寺福

長藩隊長某詩

赫赫東藩八万兵
襲禾屯在浪花城
我呼快死知何日
笑行四隣砲聲起

筑波山浪士某辭世

身蒙狂名足何歎
唯恨老父母艱難
拔山騰力斬奸劔
今宵客廬夢正楠



